

(法第28条第1項関係様式例)

2006年度事業報告書

NPO法人 エコロッジ協会

1 事業の成果

本年度実施した事業は下記の通りである。

1) 設立総会及び第1回ガイドライン説明会in京都[2006年06月18日(日)]

6月18日はNPO法人エコロッジ協会の設立総会及びガイドライン説明会をひと・まち交流館京都で行った。



代表理事の開会の挨拶、京のアジェンダフォーラムの十倉様の来賓の挨拶に続き、小林理事によるエコリポート・エコロッジの話、そしてガイドライン説明に入った。グリーン購入ネットワークの88項目を使わせて頂いており、前半は概念的な説明をGPNの深津理事が担当し、89-110項目においてはエコロッジ協会独自に設定し、各項目の説明を高山・大庭が行った。

次に京都の美山で自然派週末民宿「アースガーデン」の植月様による宿の説明があった。木材の95%を美山で調達、塗装や建材、パッシブデザインの話や食べられるガーデン作りなどの紹介があった。

2) エコロッジ説明会in大阪[2006年06月20日(火)]

大阪中ノ島、中央公会堂にて「Ecolodges and Ecotourism」についてエコツーリズムにおけるエコロッジの重要性や海外事例などITC梅田クラブに説明を行なった。



3) 宿泊施設向けエコツーリズム研修会inウトロ[2006年07月08日(土)]

知床におけるエコツーリズムの普及・定着に向けた事業の一環として環境に配慮した宿泊施設の経営指針をまとめた「エコロッジガイドライン」の説明会をウトロ漁村センターで行った。知床エコツーリズム推進協議会会長上野氏の挨拶をはじめに、ホテル、旅館、民宿、ユースホステル等の宿泊施設経営者と斜里町側の世界自然遺産知床にふさわしい宿泊施設のあり方について講演した。ウトロでは、世界遺産効果による宿泊施設の超満室状態が連日続いており、環境負荷を軽減するために何らかの取り組みを始めたいという宿泊施設のオーナーらが集まった。



観光ブーム、乱開発における世界遺産の喪失の可能性
観光客による交通機関からの二酸化炭素排出計算例
宿泊施設でできる省エネ、グリーン購入
エコロッジとしての環境への取り組みとガイドラインの使い方
質疑応答

4) 宿泊施設向けエコツアーリズム研修会in羅臼[2006年07月10日(月)]

知床におけるエコツアーリズムの普及・定着に向けた事業の一環として環境に配慮した宿泊施設の経営指針をまとめた「エコロッジガイドライン」の説明会を羅臼町商工会館で行った。



観光ブーム、乱開発における世界遺産の喪失の可能性
観光客による交通機関からの二酸化炭素排出計算例
宿泊施設でできる省エネ、グリーン購入
エコロッジとしての環境への取り組みとガイドラインの使い方
質疑応答

5) エコロッジ説明会in札幌[2006年10月14日(土)]

「小さな宿屋でも出来る省エネ・エコ化セミナー」in札幌と題して札幌国際ユースホステルにて説明会を行った。

地球温暖化と化石燃料の使用による省エネの必要性
省エネの取り組みによる削減額
省エネ製品とグリーン建材の選び方
食材に関するライフサイクルエネルギー
エコロッジの特性
地域密着型のエコツアーリズムとは
エコロッジチェックリストの活用

6) エコツーリズムオーストラリア会議[2006年11月01日(水)]

エコツーリズムオーストラリアが10月30日-11月3日に催したエコツーリズム国際会議に出席した。「Sustainable Design and Practice Delivering Profitability」(サステイナブルデザインと利益を生む実務)分科会の中で「Energy conservation enables Japanese nature-based lodge financial and environmental sustainability」(日本における自然に親しむ宿泊施設による省エネは経済と環境の持続可能性を高める)を発表した。



世界各地で見る地球温暖化現象

オーストラリアや日本などの先進国による炭素排出量

日本の省エネラベルの紹介

小さな宿泊施設で実践する省エネ運動とオーストラリアドルで見る節電料金

食べ物のライフサイクルアセスメント



7) アジア太平洋エコツーリズム会議[2006年11月04日(土)]
タマン・ネガラ国立公園

アジア太平洋エコツーリズム会議が11月2-5日に催された。「Development of ecolodges in Japan and the expectation of Japanese eco-tourists in respect of ecotourism sites and accommodation」(日本におけるエコロッジの定着と日本人エコツーリストが期待するエコツーリズム実践地区及び宿泊施設)についての発表を行なった。



日本におけるエコツーリズムの認識
日本人エコツーリストの年齢層と価格層
日本人エコツーリストが期待するツアー内容
ECOLAの活動内容紹介とこれからの課題
省エネ・エコプロダクツの紹介



8) エコロッジ説明会in守口[2006年12月08日(金)]

大阪守口駅前にあるロイヤルパインズホテルにて「家庭で出来るエコライフ」を題目に、ITC枚方クラブ主催のプログラムにて講演を行なった。



省エネに対して意識の高いライフスタイルに取り組んでもらえるよう地球温暖化問題の実情から私たちにできることについて。

環境に配慮し、地域活性化に役立つ観光形態のひとつとしてエコツーリズムとエコロッジについての事例報告

9) エコプロダクツ2006視察[2006年12月14日(木)]

宿泊施設に特化したエコプロダクツ情報登録に向けて東京ビッグサイトにて開催されたエコプロダクツ2006視察を行なった。